

# 赤ちゃんふれあい会

大山中3年生

## 赤ちゃん・お母さんと交流

赤ちゃん、お母さんとのふれあいをとおして、命やコミュニケーションの大切さを感じてもらおうと、大山中学校で5月25日、町内の3カ月から7カ月の親子8組を招いて家庭科の授業が行われました。



この授業は、県西部などで活躍する子育て支援アドバイザーの松本寿栄子さんの協力を得て、大山中学校、教育委員会が企画したもので、今年で3年目になります。授業には町の保育士、保健師もスタッフとして参加しました。生徒たちは松本さんから「皆が愛情をかけることで赤ちゃんはすくすく育ちます」などと話を聞いたあと、グループに分かれ、交代で赤ちゃんをだっこしたり、ミルクを飲ませたり、絵本を読んだりして赤ちゃんとのふれあいをしました。中には離乳食のおかゆをあげることに挑戦した生徒もいました。

中学生は「毎日離乳食をあげているお母さんはすごい」「初めて赤ちゃんを抱いたけど温かくてずっしりしていた」などと感想を話していました。

参加したお母さんからは「自分が赤ちゃんを産むまで赤ちゃんに接する機会がなかったので、中学生に体験してもらいたいと思って参加しました」「進んで男の子たちがあやしてくれたのでうれしかった」という感想が聞かれました。

今後は10月と来年の1月にも行われ、少し成長した赤ちゃんとのふれあいます。



ほら、上手にできたでしょ。

(所子保育所)

## ちまき巻き巻き

更正保護女性会の皆さんと

日本の食文化を伝えていこうと6月5日、所子保育所で大山更正保護女性会のみなさんと園児が一緒にちまき作りをしました。あらかじめ会員の方が近くの山で採ってきた笹を、年長組のみんなが前日に、1枚1枚丁寧に洗ったりくきを切ったりして準備しました。

園児たちは耳たぶくらいの硬さに練られた生地を手で丸め、笹の葉2枚を十字に置いて丁寧に包んでいきました。できあがったちまきは、その日のおやつにゆでてもらい、子どもたちの大好きなきな粉をつけて食べました。

## 叙勲受章

おめでとうございます

瑞宝 双光 章



伊勢田 洪さん (88) 所子教育功労元公立中学校長

昭和15年大阪府において国民学校訓導に任命されて以来、中学校教諭、中学校校長として39年間の永きにわたり、知育・徳育・体育の調和のとれた生徒の育成を目標とした教育実践と、生徒自らが最大限力を発揮できるよう学校経営に取り組み、学校教育の発展に寄与されました。

また教員退職後は町社会教育委員、町中央公民館長、町伝統的建造物保存地区審議会委員長を歴任され、社会教育の推進に努め、教育行政の発展に寄与された功績が認められたものです。